

# 研究だより

校内研究便り ⑥  
令和3年5月20日  
研究推進部

## 第1回目の研究授業が終わりました

6年生1組で研究授業をしました。子供たちは、「**縄文時代と弥生時代、どちらの時代で生活したいか考える**」という問いに対して、衣食住の様々な見方で自分の考えをノートにまとめました。ロイロノートを使いこなして資料をじっくり見たり、ノートに表を作って縄文と弥生に分けて考えたりする姿は、さすが6年生でした！



6年生の先生方は、分科会での指導案検討の段階から、学習問題について悩まれていました。やはり協議会でも話題に挙がったのは「**学習問題**」や「**問い**」でしたね。澤井先生がおっしゃるには、「縄文時代と弥生時代、どちらの時代で生活したいか」は「裏の問い」であり、子供たちが本気になる問いではないとのこと。協議会でN先生からも指摘があった学習問題。澤井先生からは、**単元の「学習問題」を明確に提示して、その問題に迫るために「なぜ」という小さな問いを繰り返す**手法もあるとご指導いただきました。そしてこの「なぜ」に迫るために、本校の研究の核である**シンキング・サイクル**を活用するとよいことも教えていただきました。



協議会後の応接室のお話では、タブレットとノートの併用について、板書は写させるべきか、など様々な話題が挙がりました。**社会科の教科書をコピーして写真や文を全て切り取って並べ替える学習計画の立て方**も教わりました。機会があればやってみてはいかがでしょうか。

最後に、先陣を切って授業をしてくださった6年生の先生方、本当にありがとうございました。次は2年生の算数です。みんなで学びましょう！